

The Lions News

DISTRICT 330-A LIONS CLUBS INTERNATIONAL

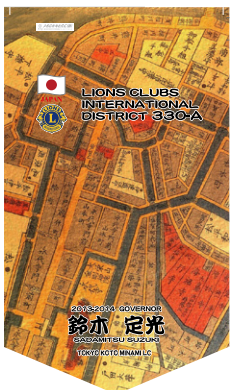
<http://330a.jp/>



2014 For the future



「岩淵水門」 撮影：L津守 勝男



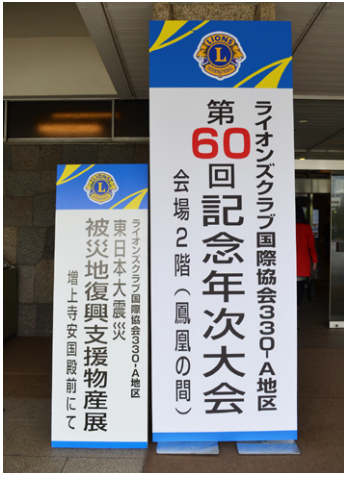
- 第60回記念年次大会開催される 330-A地区
- 未来へつなぐ明日への希望 330-A地区・332-C地区
- 特集・被災地の現況を取材 広報委員会
- キャビネットだより 地区キャビネット
- 地区内クラブだより 地区内各クラブ
- 周年行事だより 地区内各クラブ
- 編集後記 広報委員会



第60回記念 年次大会開催される



ライオンズクラブ国際協会330-A地区では第60回目となる記念の年次大会を、去る2014年4月20日(日)東京プリンスホテルにて開催した。60回目の記念年次大会は東京プリンスホテルに隣接する増上寺安国殿前にて、東日本大震災被災地復興支援物産展として被災地で生産される水産加工品や農水産物などの販売が行われ、被災者らを励ました。当日は増上寺の祭事、地藏尊大法要にあたり“神輿”を担ぐ多くの担ぎ手と、見守る人たちでにぎわう中、イベントに参加するライオンズ関係者ほかで混雑した。午前中から休憩をはさんで行われた代議員会では地区ガバナーエレクトにL塩月藤太郎(東京田無LC)、第1副地区ガバナー予定者にL近藤正彦(東京遼東LC)、第2副地区ガバナー予定者にL村木秀之(東京数寄屋





橋LC)がそれぞれ選挙管理委員会からいずれも候補者が一名ずつであるとのことから委員会指名され、各候補者は異議なく承認された。また、代議員は各分科会に分かれてそれぞれの議題の審議やシンポジウムが行われた結果、政策中長期計画／会則会員／法人化検討組織連携分科会では2020年オリンピック・パラリンピックとライオンズクラブ国際協会330-A地区のかかりについて「わがライオンズクラブは、2020年オリンピック・パラリンピック開催にあたり、新国立競技場の万国旗掲揚ポールなどの施設建設ならびにパラリンピック選手の育成・強化に対する支援活動を速やかに開始することを宣言する」という宣言内容が決議承認されたほか、経理分科会では1. 2013-2014年度330-A地区上半期会計報告書承認の件、2. 2012-2013年度330-A地区会計報告書承認の件、3. 山田国際第二副会長方針に基づき、2013-2014年度330-A地区家族会員(二人目以降)の地区会費を免除とする件、4. 2014-2015年度地区クラブ会費として1ヶ月2,000円拠出の件、5. 2014-2015年度地区費として1メンバー1ヶ月680円拠出の件、家族会員は免除、6. 2014-2015年度地区大会費として1メンバー1ヶ月150円拠出の件、家族会員は免除の6案件がいずれも承認されたほか、広報IT分科会では2014～2015年度330-A地区アクティビティスローガンを「大切にしよう縁と絆でウィサーブ」とすることが決議された。



330-A・332-C地区共催 ～東日本復興支援プロジェクト～

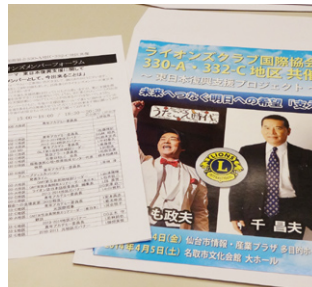
未来へつなぐ明日への希望 「ライオンズメンバーとして、今出来

全国ライオンズメンバーフォーラム

2014年4月4日(金) 仙台市情報・産業プラザ多目的ホール



2011年3月11日東日本大震災が発生してから3年が経過し、今日までの復興支援を振り返り、さらに継続してゆく上で、全国のライオンズメンバーと情報を共有することにより効率的な復興支援活動ができるのではないかとの趣旨で、全国ライオンズメンバーフォーラムが仙台市で開催された。全国から384名のライオンズメンバーが集まり、330-A地区青年アカデミー委員長L坪谷の司会進行のもと、330-A地区の鈴木ガバナー、332-C地区の林ガバナーが挨拶した。フォーラムでは、332-C地区の緊急アラート委員長のL後藤、石巻日和LC会長のL松田、332-D地区より福島復興心理・教育臨床センター代表の橋本様から被災地の切実な現状報告があった。グループディスカッションでは、各地区のLC支援活動等具体的な意見交換が活発に行われ、その内容について発表された。



ることは」

東日本復興支援プロジェクトステージイベント

2014年4月5日（土） 名取市文化会館大ホール



4月5日（土）名取市文化会館大ホールで1300名の被災者を招待しての大規模なショーが開催された。332-C地区林昭平ガバナー、330-A鈴木ガバナーの挨拶に続いて地元の6組のキッズグループのダンスショーが披露され、観客は若いエネルギーを体感。続いておりも政夫さんの歌声時代では懐かしい歌を上手に誘導してもらって会場は楽しそうな歌声がこだました。最後は陸前高田出身の千昌夫さんが登場。地元ということもあり巧みな話術と多くのヒット曲で観衆を見事に一体化し、名取市文化会館は大変な熱気に包まれた。



広報委員会では被災地の現況を取材

広報委員会では仙台で行われた東日本大震災復興イベントの取材に伴い、福島県内のテレビ局や石巻の水産事業などを取材した。

テレビユー福島訪問

まず、仙台に向かう途中、昨年の地区ニュース取材でお世話になった“テレビユー福島”を訪ね、同局の報道局長大森真氏にインタビューしたので、以下そのお話をお伝えします。

Q. 昨年はお世話になりました。この一年間で復興に関して福島は状況はどうでしょうか？

A. 変わったところと変わっていないところがあります。要するに復興が進んでいる面もありますが、全く進展しない面もあります。進展していないところは今年なんとかしなければならぬと思います。たとえば、今月1日に初めて避難区域(田村市)が解除になりましたが、解除になったからと言って初日に帰った人は十数世帯(1/10も帰っていない)と思われませんが、帰りたい人が帰れるようになったということは大きな意味があると思います。

Q. 昨年聞いたお話では県内の放射能汚染は伝わっている内容とは異なり、様々な数値から安全が確認されている。むしろ風評被害の方が大きいとのことでしたが、その面ではどうでしょうか？

A. 依然として、県民にとっては風評被害が大きいのしかかっています。さらに精神的な風評被害(「福島は危ない」と言われること)も大きな負担となっています。原発の問題も廃炉まであと30年、40年かかるわけで、廃炉してやっと終わりだと考えたらそうした精神的な負担が生じているわけです。ここまで長期な忍耐になるとあきらめなど

も出てくるわけで、特にお年寄りはそのでがっかりしているひが多いと感じています。すでに震災の直接死よりも避難してからの関連死の方が多く、かなりの方がうつ状態であると思われる。福島県の震災関連死として確定した、自殺者を含む死者数は4月13日現在、1,671人で、地震や津波で亡くなった直接死の1,603人を上回っています。

Q. そうした環境下でメディア側は明るいニュースを伝えていくのもご苦労がありますね？ 昨年、福島県が主催した“六魂祭”は大いに盛り上がりましたが…

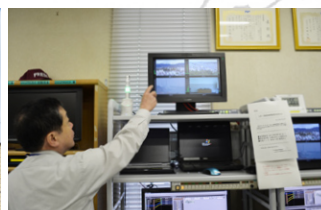
A. そうですね、昨年の“六魂祭”は盛り上がりました。県民も若い人々を中心に元気があり、これからも期待したいと思います。私の母校の福島高校で、私がかつて作ったジャズバンドチームの中から今年ボストンのパークレイ音楽大学に合格した後輩が出て、明るいニュースとなっています。若い世代への期待が高まります。

Q. 我々もライオンズクラブでの広報活動を通じて、できる限りの協力をしたいと思います。

A. よろしくお願い致します。



昨年の取材時に撮影





石巻市水産物地方卸売市場訪問

2014年4月5日、東日本大震災後3年を経過した石巻市魚市場に、広報委員会6名、IT委員会3名の9名で訪問し、現地の魚市場関係者、水産業者ら7名の方に復興の現状をインタビューした。現在建設中の魚市場は、海外販売も見据えて、水産加工品などHACCP（ハセップ=食品安全性保障システム）の基準に合った生産体制を考慮している。国の補助金を受けるなど行政に支援もあるが、根本的に、日本人の魚の消費量が減っていること、震災後に産地移転が起きたこと、水揚げする一次産業とその後の水産加工業との行政の管轄が異なることなど厳しい環境にある。放射能測定は、簡易測定



器が認められており、国の基準の100ベクレルの半分の50ベクレルで検査している。通常は、ミンチにして検査しているが、昨年の4月以降、一度だけ限定された魚に出ただけで、それ以外はないとの事。風評被害でお得意さんが離れ、震災前の30～40%の目標でやっている。現在の課題としては、海岸線に住んでいた手に職ある人たちがいなくなり、人手不足であることだが、いろいろ工夫して、4年目は自立しようと、復興会議を前向きにやっている。石巻はこれだという特産物がないが、多種の魚が取れているので、今後は水産物の消費が増えている海外に向けての販売も考えており、どの国でどんな水産物や加工食品が売れるか調査することが必要とのこと。様々な悩みを抱えている様子だが復興への手ごたえを感じているのか表情は明るい。我々にも海外への市場開拓などに力を貸してほしいと語りかけていた。

お話を伺った方々

石巻市産業部次長兼復興政策部次長	続橋 亮 様
石巻市産業部水産課課長補佐	菅野 賢治 様
(水産復興会議参加者)	
石巻魚市場株式会社 代表取締役	須能 邦雄 様
石巻魚市場買受人協同組合 理事長	布施 三郎 様
株式会社米貞商店 代表取締役	米本 貞之 様
大江冷蔵株式会社 代表取締役社長	大江 康博 様
石巻魚市場株式会社 管理部長	佐々木 茂樹 様

キャビネットだより

第3回キャビネット会議

3月17日

AP西新宿

3月17日(月)、AP西新宿に於いて開催。鈴木定光ガバナーは挨拶で、4月4、5日仙台市で行われる復興支援イベントの更なる参加の呼びかけ、4月20日の第60回年次大会において増上寺での物産展のチケット購入のお願い及び会員増強運動は順調に推移しているが、2月度は増加率が低下しているので引き続き鋭意協力願いたいなどの挨拶があった。

その後協議事項から審議が行われ今回は特に年次大会関係の議案が多数上程され慎重審議のうえ議決された。



薬物乱用防止認定講師スキルアップセミナー

4月1日

薬物乱用防止委員会

4月1日(火)薬物乱用防止委員会主催の「第五回薬物乱用防止教育エキスパート指導者養成講座」をキャビネット事務局会議室にて行った。五回目となる本講座もレベルが向上して、メンバーの意識もかなり高く、素晴らしい講座となった。6月10日には最終の講座を迎える。



「海の森」植樹まつり

3月29日

環境保全委員会、オリンピック・パラリンピック支援委員会



3月29日(土)に環境保全委員会主催オリンピック・パラリンピック支援委員会共催で海の森植樹が90名の参加にて行われた。当日晴天に恵まれ鈴木ガバナーはじめキャビネットからも大勢の方々が集まりオリンピックへの思いを込めて、オリンピック開催に関わる「海の森公園」にて実施された。青空の下参加した子供達も大喜びで植樹体験を楽しんでいた。植樹の成長がとても楽しみだ。



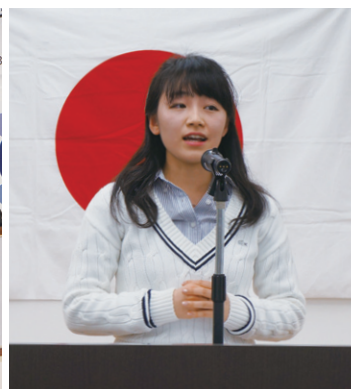
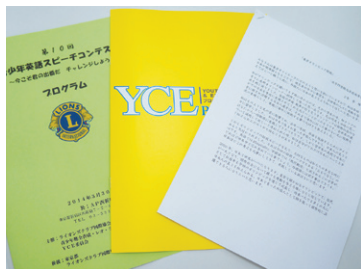
英語スピーチコンテスト

3月30日

青少年・健全育成・レオ・ライオンズクエスト委員会、YCE委員会



今回で10回目となる英語スピーチコンテストが3月30日(日)、AP西新宿で開催された。全国から応募者37名という多数の応募があり、選考を経て当日は18名の高校生、大学生が熱弁をふるった。鈴木ガバナー、第1第2副地区ガバナーを始め約80名の来場者で会場は熱気に包まれた。留学やホームステイ経験者が多くバイリンガルレベルで発音をする出場者も多い中、栄えある東京都知事賞の栄冠は13年間の柔道人生について語った神戸国際大学付属高校の松田拓哉君が獲得した。最後に審査委員長の河合悦子元ガバナーから、最近インターネットの普及のためか応募者が増えレベルも非常に上がっているとの総評があった。



地区内クラブだより

キャンペーンバス寄贈される

4月1日

東京八王子陵東LC

“公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター”では長年にわたり薬乱防止バスの運行を行ってきたが、この度予算の関係があって本年4月より東京八王子陵東ライオンズクラブに寄贈された。同センターでは同じバスを8台所有していたが今回全国のライオンズクラブに寄贈が行われた。このバスはビデオやゲーム、薬物のサンプル、写真などが展示されており、大変な数の小学校からの来場要請があったという。同クラブでは希望クラブに貸すことも出来るということであった。



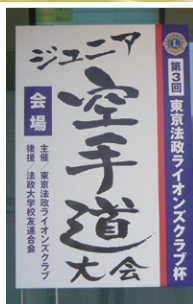
第3回東京法政ライオンズクラブ杯ジュニア空手道大会

3月16日

東京法政LC



3月16日(日)東京法政ライオンズクラブは今回3回目になる青少年育成空手道大会を法政大学多摩キャンパス総合体育館にて行った。3回目の今回が最高の選手人数400名で、鈴木ガバナーはじめキャビネットからも来賓の方々がかつつけた。初回からご尽力頂いた河合元ガバナーから「継続は力ですね」と暖かい励ましの言葉をメンバーに伝えていた。会場には早朝から夕方まで子供達の元気な声が響いていた。



戦没者追悼慰霊式典

4月12日

東京葵LC(東京ピースLC共催)



4月12日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑にて第41回の追悼慰霊式典が雲一つない青空の下、ライオンズ関係者ら約300名が参加して営まれた。今回より共催となった東京ピースLCの山下規介幹事の司会により、国家斉唱、黙祷、献水、献茶の式などに加え文京青少年吹奏楽団、ライオンズコーラス、スタンプボによる音楽の奉奏など厳かの中整然と執り行われた。



10周年記念植樹の桜の木などを清掃

3月29日

東京飯田橋LC



東京飯田橋ライオンズクラブは3月29日(土)飯田橋外濠の桜土手清掃を実施した。外堀通りの桜は、飯田橋ライオンズクラブが結成10周年を記念し、1976年に植樹し、新宿区に寄付したもので、以来、開花前に歩道などをきれいに清掃してきた。今年は3月29日、満開に近い桜の下で清掃作業を実施した。

地区内クラブだより

2014モザイクアート花びんコンクール

4月6日

東京豊新LC



「もの」から「ひと」そして「こころの豊かさ」へ

東京豊新ライオンズクラブは、石巻市街地区の避難者住宅等で学童の放課後遊びのお世話をしているNPO法人「にじいろクレヨン」との共催で、「2014モザイクアート花びんコンクール」を開催した。コンクール参加者は、子ども36名、大人4名(表彰対象外)の40名。地元新聞にも取り上げられ予想より多くの応募があった。

子どもたちの作品が主役になり、展覧時の投票数で同クラブの赤尾会長から各賞の表彰をした。表彰される子どもたちのキラキラした表情と受賞の子どもたちをカメラに納める保護者の笑顔につつまれた。



視覚障害者を招いてのダンスパーティー

4月4日

東京高輪LC



4月4日、同クラブでは第10回の視覚障害者招待ダンスパーティーを品川プリンスホテルにて午後2時より4時まで行った。港区長にもご挨拶をいただき招待者80名、高輪のメンバー20名が参加した。この模様は港区、新宿区ケーブルテレビジョンで、4月5日から1週間にわたり1日3回放映された。この後同クラブ恒例のチャリティーダンスパーティーが行われた。



第12回東京世田谷ライオンズクラブカップ / 少年サッカー教室を実施

3月16日

東京世田谷LC

2014年3月16日(日)駒沢オリンピック公園陸上競技場において第12回東京世田谷ライオンズクラブカップ / 少年サッカー教室が開催された。世田谷区の小学校4年生にあたるチーム17クラブ32チームのメンバー約300人が参加した。保坂展人世田谷区長も駆けつけて、午前中はFC東京に所属するコーチによるサッカー教室が行われた。子供たちはプロから教わる様々な技術に目を輝かせていた。お昼には企業にご協賛頂いたおにぎりドリンクが子供たちと父兄に配られた。午後は世田谷少年サッカー連盟の公式戦でもある同クラブカップが開催され、クラブメンバー24名がサポートし、子供たちの真剣なプレーとたくさんの笑顔を見守った。



女性賛助会員入会式

3月18日

東京隅田川LC

3月18日(火)に東京隅田川ライオンズクラブ第二例会において女性賛助会員の入会式を行った。人数の少ないクラブだが厳かにそして暖かい入会式でメンバーの心優しさが伝わった。吉田会長も女性ならではの心配りのある感激の言葉にメンバー一同あらためて入会者の倍増を心に誓っていた。



ランドセル

4月30日

東京大森LC



東京大森ライオンズクラブ(会長高橋貞夫)では昨年より始めたアクティビティーとしてマニラライオンズクラブ(フィリピン)に送る事業を始めた。今年も大森地区の小学校8校の協力を得て約300個のランドセルの提供があった。集められたランドセルは大森沢田西町会の皆様の協力を得て箱詰めには5月下旬には現地に到着大森LCではそれに会わせクラブメンバーが現地で贈呈式が行なわれる。



盲導犬育成チャリティーコンサート

4月2日

東京品川LC



東京品川ライオンズクラブ(会長L水野剛)は2014年4月2日(水)第14回盲導犬育成基金『チャリティーコンサート』をJR大井町駅前品川総合区民会館「きゅりあん」にて実施した。当日はフリーベル少年合唱団の合唱ならびにハープ&口笛のコンサートが実施された。公益財団法人日本盲導犬協会に収益金の贈呈が行なわれ、同クラブの永年の協力に対し日本盲導犬協会から感謝状の贈呈が行なわれた。

地区内クラブだより

東京立川LCと東京小金井LCが合同例会

3月27日

東京立川LC、東京小金井LC

2014年3月27日(木)東京小金井ライオンズクラブは東京立川ライオンズクラブと共に立川クレストホテルにて合同例会を実施した。この合同例会にて東京立川LCには二名の入会式が行われた。合同例会は「様々な面で互いに刺激し合い、励まし合って盛り上がった例会になる」との参加メンバーの意見があり、今後東京昭島LCや東京横浜LCなどにも働きかけて合同例会を企画すること。



50周年記念バレエ観賞

5月4日

東京青山LC



東京青山LCでは、お陰さまで創設50周年を迎えました。記念式典に変え、記念事業として当クラブと縁のある松山バレエ団の協力により2015年に山口県で開催される「第23回世界ボーイスカウトジャンボリー」支援を目的として50周年記念バレエ鑑賞会を開催いたしました。地区内外の有志ライオン、有志スカウター100余名のご協力を得て、至高の芸術を鑑賞しながら国際親善の企画に激励を賜りました。(同クラブメンバー)



多摩センター駅前で献血奉仕活動を実施

4月12日

東京稲城多摩LC



2014年4月12日(土)京王線と小田急線の交差する多摩センター駅に日本赤十字社立川事業所より献血車を呼び、参加メンバー12名が待ちゆく人に声をかけ献血を呼びかける奉仕活動を実施した。当日午前中は人手が少なく苦戦したとのことだが、午後からは人手も増えて合計57名の方から献血いただいたとのこと。受付者数:71名 採血者数:57名(情報提供:東京稲城多摩ライオンズクラブ献血委員長L辻 理)

周年行事たより

50周年

4月12日

東京江東LC



2014年4月12日(土)東京江東ライオンズクラブはチャーターナイト50周年記念例会を江東区の「ホテルイースト21東京」にて行った。地区内外のメンバーら関係者約250名を集めて行われた。台湾からも友好クラブのメンバー25名が駆けつけた。お祝いに駆けつけた江東区長ら来賓は区内の大島小学校の生徒によるソーラン節を楽しんだ。

50周年

4月6日

東京蒲田LC



東京蒲田ライオンズクラブ(会長L平将明)は2014年4月6日(日)大田区区民ホールで50周年記念コンサートを実施し、会場を移して記念式典が行なわれた。鈴木定光ガバナーを始め多数の来賓の挨拶に続き、第二部では慶応大学教授の竹中平蔵氏の記念講演、第三部の祝宴となり盛大に盛り上がった。

50周年

4月18日

東京江戸川LC



2014年4月18日(金)帝国ホテルにて東京江戸川ライオンズクラブチャーターナイト50周年記念式典が470名を集めて行われた。江戸川区長ほかライオンズクラブから鈴木ガバナーらが御祝いに駆けつけた。50周年でチャーターメンバーの表彰があり、同クラブの歴史をあらためて感じた。第二部では津軽三味線の20名での壮大な演奏、第三部ではメンバーも混じってのフラダンスと嗜好をこらした素晴らしいチャーターナイトに酔いしれていた。

10周年

2月16日

東京白門LC



2014年2月16日(日)東京白門LCは東京会館にて結成10周年記念大会を実施した。

10周年

3月25日

東京スバルLC



3月25日(火)に東京スバルライオンズクラブは都内の八芳園にてチャーターナイト10周年記念式典を行い、地区内メンバー約180名が参加した。同クラブメンバーで副実行委員長のL雪乃さずきの素晴らしい歌声、そしてバイオリンの演奏、ミュージック空手とアトラクションも充実した式典で、あらためて10周年区切りを迎え気持ちをあらたにしていた。

2014 主要行事日程表

キャビネット会議

- 第4回 2014年6月9日(月) 会議 15:00~17:00 東京プリンスホテル
懇親会 17:30~19:00 ※元ガバナー・キャビネット構成員・委員会副委員長・委員・SPA・複合地区役員

OSEALフォーラム

- 第53回東洋・東南アジア・ライオンズ(OSEAL)フォーラム 2014年11月13日~16日 韓国、仁川(インチョン)

国際大会

- 第97回国際大会 2014年7月4日~8日 カナダ、オンタリオ州トロント
- 第98回国際大会 2015年6月26日~30日 米国、ハワイ州ホノルル
- 第99回国際大会 2016年6月24日~28日 日本、福岡県福岡市
- 第100回国際大会(国際協会創立100周年記念大会) 2017年6月30日~7月4日 米国、イリノイ州シカゴ
- 第101回国際大会 2018年6月29日~7月3日 米国、ネバダ州ラスベガス

その他

- 東京都障害者スポーツ大会 2014年5月31日(土)~6月1日(日) 駒沢オリンピック公園総合運動場

第97回ライオンズクラブ国際大会 トロント大会

大会開催期間

2014年7月4日(金)~7月8日(火)

開催地

カナダ・オンタリオ州・トロント市

- 7月4日(金) 展示ホール及び大会サービス(メトロ・トロント・コンベンションセンター)
- 7月5日(土) インターナショナル・パレード(ルート・集合/出発時刻の詳細未定)
- 7月6日(日) 大会初日総会・会長講演・国旗式 他(エア・カナダ・センター)
ガバナーとガバナーエレクトを囲む会(ウェスティン・ハーバー・キャッスル)
- 7月7日(月) 大会2日目総会・追悼式・第二副会長及び国際理事の指名(エア・カナダ・センター)
- 7月8日(火) 大会閉会式・2014-2015年度国際会長就任宣誓式 他(エア・カナダ・センター)

編集後記

今までIT委員会の仕事は経験しましたが今回初めて広報を担当することになり不安が一杯でスタートいたしました。また今年は3年に一度の名簿も作成することも我々委員会の分担になっておりました。そうした中、柴田副委員長始め多数の委員会メンバーのご協力により先が見えるところまで参りました。この活動を通して様々なアクティビティーや会議など、たくさんのライオンズ活動を身近に体験することが出来、本当に330-Aは多数のライオンによって支えられているのを改めて実感致しました。ご協力頂いた皆さん、本当に有難うございました。 **広報委員長 L矢田部 満**

地区ニュースの発行は、地区キャビネットが発信する重要な情報を掲載したり、地区内で起きている様々な情報を伝えたりする大切な紙媒体だと考えています。地区IT委員会が運営する地区HPからもそうした情報がいち早く手にすることができますが地区ニュースは情報をまさしく手にとって身近に感じることができ、保存と閲覧に優れた便利な情報源です。 **編集長 L柴田 誠**

地区メンバーの方々に、他のクラブの活動やキャビネットの活動を知って頂くために委員会メンバー一同協力して参りました。一年間この地区ニュースの裏にある編集に関わらせて頂き感謝致します。 **L桂 太郎**

三年間広報委員会を担当させて頂き、いろいろな経験が出来るとても楽しかったです。矢田部委員長にもいろいろお世話になり、ありがとうございました。チャンスがあればまた広報委員会のお手伝いが出来ればと思います。 **L後藤 裕文**

開催されていることを知り、大変勉強になりました。委員会の皆様方には、暖かく迎えていただき1年間楽しく活動できました。ありがとうございました。 **L上杉 秀樹**

一年が過ぎるのが最近早すぎるのではないかと思います。一年があります。ライオンズライフを楽しく過ごしている事がそうさせて居るのかもしれない。広報委員会活動もその一つかも知れませんこの一年ありがとうございました。 **L津守 勝男**

広報委員会に係わり思うことは、日本人は能力・実力があってもアピールが下手なため相手に伝わらず、かなり損をしているなど感じました。少しでも皆様の行動や経験を上手く伝えるお手伝いが出来たかなと考えていますが…。 **L矢追 秀紀**

皆さん公私ともに忙しい中活動していただきありがとうございます。原稿の投稿が多いと整理と編集が大変で編集長はじめスタッフが忙しい、投稿が少ないと次回の発行が不安でやりくりが結構楽しい、私自身撮影とかラボ処理が特技なので小金井クラブでは常に編集役をやっています。短期間でありましたがありがとうございます。 **L秋保 朋芳**

二年間この委員会に所属させて頂きとても勉強になりました。取材や編集などメンバーの一員として活動する中で経験した新たな出会いや出来事はライオンズ活動のみならず色々な面で自分の肥やしになりました。ありがとうございました。 **L高橋 美作**

ライオンズクラブ国際協会330-A地区
地区ニュース 第4号(For the future号)

The
Lions
News

発行日 2014年5月20日
発行 広報委員会

広報委員会

委員長 矢田部 満(調 布)
編集長 柴田 誠(新都心)
編集委員 村木 秀之(数寄屋橋)
後藤 裕文(法 政)
山口 聖之(中央南)
上杉 秀樹(豊 新)
津守 勝男(大 森)

中吉 淳喜(羽 田)
矢追 秀紀(ウエスト)
桂 太郎(世田谷)
秋保 朋芳(小金井)
高橋 美作(羽 村)
担当副幹事 進藤 義夫(世田谷)

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区キャビネット事務局
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-10-17
新宿ダイカンプラザB館2F
TEL(03)5330-3330
FAX(03)5330-3370
E-mail cab@lions330-a.org